

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/4現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきんG7外国債券インデックスファンド(3ヵ月決算型)・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	日本を除くG7を構成する先進国の国債等に投資し、FTSE G7 Index(除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方を想定しております。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。
  - ② 外債（外貨建て債券）とは、具体的にどのようなものですか。
  - ③ G7の構成国とはどんな国ですか、また他の外国と比べて信用力が高いのですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<p>&lt;為替変動リスク&gt;主にユーロ建や米ドル建等の外貨建の有価証券に投資している。投資有価証券の発行通貨が円に対して強く（円安に）なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。</p> <p>&lt;金利変動リスク&gt;投資している債券の発行通貨の金利水準が上昇（低下）した場合には、当ファンドの基準価額の変動要因となります。また、組入債券の残存期間や利率等も価格変動に影響を与えます。</p> <p>&lt;信用リスク&gt;格付けがA格以上のソブリン債券が投資対象となっていますが、投資している国の経済情勢の変化や各投資対象の格付けの変更によっては、債券価格が変動し、当ファンドの基準価額も変動します。</p>
過去1年間の収益率	0.6%（2023年7月末現在の対象インデックスの騰落率）
過去5年間の収益率	平均3.2% 最高8.1%（2020年7月末）最低-3.8%（2022年12月末） （2018年8月～2023年7月の各月末における当ファンドまたは対象インデックスの直近1年間の崩落率）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の7ページから8ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の9ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- （質問）
- ④ ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。
  - ⑤ 今後、円高が進むことによって、ファンド価格も下落しますか。

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	1.65%	1.155%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬：年0.5335%	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の11ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- （質問） ⑥ 販売手数料や信託報酬の平均的な水準は、どのくらいですか。  
⑦ 販売手数料は、どのようなことへの対価と考えればよいですか。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、期間更新や繰上償還の場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料・信託財産留保額はありませぬ。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の11ページに記載しています。

- （質問） ⑧ 繰り上げ償還は、どのような場合に発生しますか？

### 5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社等から年率0.297%の手数料を頂きます。これは交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理および購入後の情報提供対価です。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ 特定の運用会社の商品に偏って、ラインナップとしていることはありませんか。

## 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の11ページに記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】  
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>  
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】  
(URL②) <https://www.skam.co.jp/fund/detail/140892/>  
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。  
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



**契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡します。**



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

しんきんG7外国債券インデックスファンド(3ヵ月決算型)・証券投資信託

	<質問>	<回答例>
①	この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。	お客様の資産構成を補完するクラスの商品であること、また投資ご経験からも十分ご理解いただける商品です。
②	外債（外貨建て債券）とは、具体的にどのようなものですか。	米国であれば、米国国債、米国の企業が発行する社債などが一例です。特に企業は、株式の発行と社債の発行・銀行借入れによって、資金調達を行います。
③	G7の構成国とはどんな国ですか、また他の外国と比べて信用力が高いのですか。	日本の他、米国・英国・ドイツ・フランス・イタリア・カナダです。GDP規模の大きさ、国際金融市場での資金調達規模と歴史が古いことなど、一般的に信用力は高いと評価されています。
④	ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。	異なります。もしファンドとして受取る利回りが3%なのに、投資家への分配金利回りが8%であれば、その差額分は別の原資に依存していることとなります。
⑤	今後、円高が進むことによって、ファンド価格も下落しますか。	たしかに、円高は為替ヘッジのない商品にとって、円ベース評価額のマイナスとなります。しかし、ドル安・ユーロ安の要因である組み入れ対象国の金利低下は、組み入れ債券価格の上昇にもつながる側面もあります。
⑥	販売手数料や信託報酬の平均的な水準は、どのくらいですか。	総じて、積立投資枠の商品は成長投資枠の商品よりも低くなりますが、成長投資枠の商品に関しては、弊庫ラインナップの中では、販売手数料は2%台前半、信託報酬は年1%台前半が、平均的な水準となっております。
⑦	販売手数料は、どのようなことへの対価と考えればよいですか。	お客様が商品を選定するためにご説明を差上げること、事務手続きを行うこと、また日常から資料の整備や更改を行うための手続きなどご理解ください。
⑧	繰り上げ償還は、どのような場合に発生しますか？	ファンドの純資産額が著しく減少した場合が想定されますが、ファンド受益者には書面通知されて、総口数の過半数同意があってはじめて、実施されます。
⑨	特定の運用会社の商品に偏って、ラインナップとしていることはありませんか。	そのようなご心配はございません。広くファンド商品を吟味検討の上で、商品の導入・見直しを進めております。